

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	3年生にプログラミングを教えよう(総合的な学習の時間)
学年	小学校第4学年
目標	Scottie Go! Edu を用いたプログラミング体験を通して、身の回りの電化製品にはプログラムが組み込まれていることに気づき、プログラムを身近に感じながら生活することができる。
教材タイプ	アンプラグド
使用教材	Scottie Go! Edu
環境	学校所有のタブレット端末ペアで1台使用、3年生との交流でもペアで1台使用
都道府県	静岡県
実施校	菊川市立横地小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>実施日時：令和2年9月8日(火)</p> <p>①単元や題材などの学習内容について</p> <p>プログラミングロボット Root を使って「理想の掃除機」を考える学習活動の前段階として、Scottie Go! Edu を扱うことにした。身の回りの電化製品にはプログラムが組み込まれていることに気づき、本校の特色である「教え合い」をすることでプログラミングを身近に感じることをさらに高めようとした。プログラミングが身近に使われている例として、冷蔵庫や一日の時間割を例示し、本格的な体験に入っていた。</p> <p>②プログラミング体験、児童の様子について</p> <p>昨年度体験したグリコードよりも、ビジュアル言語に近い命令ブロックを並べることが、より児童の意欲を高めていた。「今回の方がプログラムを組んでいる気がする。」と発達段階に応じたプログラミングへの意識も感じ取ることができた。うまくいかない時にはペアで主体的な対話が生まれ、トライ&エラーを繰り返していた。</p> <p>自分たちが3年生に教えるという見通しをもつことで、相手意識が生まれ、より主体的に取り組もうとする姿勢が見られた。実際に教え合いをすることで、異学年交流ができ、単学級の課題である多くの他者との関わりも達成することができた。</p> <div data-bbox="459 1487 906 1818"></div> <div data-bbox="935 1487 1382 1818"></div>
成果と課題	<p>成果：中学年以上には命令ブロックが適していることが分かった。</p> <p>課題：単元の中でのプログラミングの在り方の精査がより必要である。(明確な位置付け)</p>